

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また、医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を新規に開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [8007] プロカルシトニン《ECLIA》

受託開始日

- 平成21年9月28日(月)

プロカルシトニン

プロカルシトニン(Procalcitonin;PCT)はカルシトニンの前駆物質です。116個のアミノ酸から成るポリペプチドで、正常な状態では甲状腺C細胞で産生後に切断され、カルシトニンとなるため血中には存在しません。

PCTは1993年にAssicotらにより敗血症などの感染症患者の血清中に増加していることが報告された比較的新しい炎症マーカーです。細菌感染症ではTNF- α 等がプロカルシトニン産生を亢進し、ウイルス感染ではINF- γ が産生を抑制すると考えられています。また、全身性の細菌感染では様々な臓器からカルシトニンのm-RNAが発現していることも明らかになっています。

炎症マーカーとしてはCRPが頻用されますが、PCTはCRPに先立ち感染症発症後3時間から上昇し、血中半減期が22~30時間と長いという特徴を持っています。敗血症(細菌性)ではエンドトキシンよりも感度が優れているといわれ、鑑別診断および重篤度の判定に大変有用と考えられます。

検査要項

項目コード	8007
検査項目名	プロカルシトニン
検体量	血清 0.3mL または血漿(EDTA、ヘパリン) 0.3mL
保存方法	凍結
検査方法	ECLIA法
基準値	0.05ng/mL 以下*1
所要日数	2~4日
検査実施料	320点([D007]血液化学検査の「35」)*2
検査判断料	144点(生化学的検査I)
定価	4,000円
備考	*1:敗血症(細菌性)の鑑別診断のカットオフ値:0.50ng/mL 未満 敗血症(細菌性)の重症度判定のカットオフ値:2.00ng/mL 以上 *2:保険適用の内容 プロカルシトニン(PCT)は、敗血症(細菌性)を疑う患者を対象として測定した場合に算定できる。ただし、区分「D012」感染症免疫学的検査の「27」のエンドトキシン定量検査を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

参考文献

橋本章司, 他:医学のあゆみ 211:205-210, 2004.